



那霸市立教育研究所 所報

令和7年度 5月号

所長 棚原 歩

那霸市学力向上推進計画の策定

推進期間（令和7年度～9年度）

現代社会は急速な変化の中にある、子どもたちには、自らの良さや可能性を認識しつつ、他者と協働しながら社会の変化を乗り越える力が求められています。那霸市ではこれまで、学級経営や授業改善、生活習慣の確立に力を注ぎ、一定の成果を上げてきました。しかし近年、不登校の増加や、思考力・判断力・表現力の育成、ICT活用の課題が顕在化してきました。

こうした背景を受け、那霸市は新たな学力向上推進計画を策定しました。計画では「授業づくり」と「学級（学年）づくり」を軸とし、それらを支える「生徒指導の4つのポイント（自己存在感・共感的人間関係・自己決定・安全安心な風土）」との関連を重視しています。

授業づくりでは、「見方 考え方」を働きかせ、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指します。ICTの効果的活用や、児童生徒の特性に応じた個別最適な学びと協働的な学びの融合も重視され、探究的・体験的活動を通じた自学自習力の育成を進めます。

学級づくりでは、「支持的風土」の醸成により児童生徒の参画を促し、互いの考えを尊重し合う関係性の中で協働的な学びを育てます。教師は児童理解を深め、安心できる学級環境づくりに努めます。



教育の質的向上が強く期待されます。

6月 教育研究所事業		
2日（月）	研究員検証授業・保育（～7月）	
2日（月）	教育法規講座Ⅰ	
11日（水）	情報教育研修会②（情報モラル）	
12日（木）	初任者研修会⑥	
13日（金）	運営審議会	
16日（月）	教育法規講座Ⅱ	
17日（火）	中堅教諭等資質向上研修会③（代表授業）	
24日（火）	ICT情報教育推進部会②（オンライン）	
26日（木）	情報教育講座Ⅰ	



本施策では、「自立した学習者」の育成が最も重要な目標です。これは、目的や状況に応じて自らの学び方を選び、自発的に学びを進められる児童生徒を指します。例えば、授業では児童の「問い合わせ」を引き出し、教師はファシリテーターとして学びを支援します。また、ICTを用いたデジタル教材やGoogle Classroomの活用などを通じて、個別支援と学習意欲の向上が図られています。児童生徒が自ら運営・振り返りを行う仕組みを整えることで、協働性や規範意識の醸成が進みます。さらに、教師間の連携や校内研修の充実を通して、教職員のスキル向上も目指されます。

令和7年度 第1回那霸市ICT情報教育推進部会（発足式）

5/23(金)、令和7年度那霸市ICT情報教育指導員へ任命書が交付されました。また、今年度の那霸市ICT情報教育推進部会の活動について共通理解を図りました。

No	学校名	氏名
1	天久小学校	中 龍馬
2	城南小学校	松田 泰知
3	若狭小学校	宮城 優大
4	小禄南小学校	城間 碩也
5	松島小学校	馬渕 大輔
6	城北中学校	林 達也
7	寄宮中学校	比良 尚起
8	石嶺中学校	清水 香穂



那霸市 ICT
情報教育推進部会
実践事例サイト



令和7年度 124期教育研究員の様子

